



2025年10月22日
南陽市
公益財団法人イオン環境財団

山形県南陽市山林火災「復興」植樹を開催

山形県南陽市（市長 白岩孝夫）と、公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下 当財団）は、10月29日（水）に、山形県南陽市山林火災「復興」植樹を開催します。

当財団は、2010年に山形県および南陽市と「やまがた絆の森（南陽イオンの森）協定」を締結し、2013年までに松くい虫被害などで荒廃が進んでいた市道沿線や赤湯地区の十分一山^{じゅうぶいちやま}周辺に、ヤマザクラや自生種のケヤキ、モミジなど、ボランティアの皆さま約1,000名と5,100本の植樹を行いました。

2024年5月、同植樹地近くの秋葉山^{あきばさん}で大規模な山林火災が発生し、約122haが焼損しました。秋葉山周辺は、国や県で整備している東北自然歩道（新・奥の細道）のひとつのハイキングコースで、地域の皆さまに親しまれている場所です。

当財団は、秋葉山の再生を願い、南陽市立宮内小学校の児童の皆さま、多くのボランティアの皆さま200名で、焼損した1haにイチヨウ、ヤマザクラなど1,000本の植樹を実施します。

また、山林火災により、山形県が設置していた太陽光発電バイオマストイレが焼失したことを受け、当財団は環境教材設備として太陽光発電バイオマストイレの設置を行い、植樹当日、山形県への寄贈式を併せて実施します。

今後も、ひとつしかない地球を次代へ引き継ぐため、植樹をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日	時	2025年10月29日（水） 9:30～12:00			
場	所	開会式	南陽市宮内1580 南陽市向山公園		
		植樹・寄贈式	南陽市宮内字向山4397ー412先地		
植 樹 本 数		1,000本 （イチヨウ・ヤマザクラ・ヤマモミジ・ツツジ・少花粉スギ）			
参 加 人 数		200名			
主	催	南陽市・公益財団法人イオン環境財団			
後	援	山形県			
協	力	米沢地方森林組合・イオン東北株式会社			
出 席 者	山形県	知事	吉村	美栄子 様	
	南陽市	市長	白岩	孝夫	
	米沢地方森林組合	代表理事組合長	川合	要一 様	
	南陽市議会	議長	遠藤	榮吉 様	
	南陽市立宮内小学校	校長	吉水	順一 様	
	公益財団法人イオン環境財団	理事長	岡田	元也	
	イオン東北株式会社	社長	辻	雅信	

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として１９９０年に設立されました。以来、「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の４つの事業活動を中心に活動しています。
現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹事業】

万里の長城での植樹をはじめとする植樹活動は国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに活動を実施しています。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹本数は１９９１年から累計約１，２７６万本（２０２５年２月末時点）となります。

【東北における植樹などの活動】

■山形県南陽市（２０１０年～２０１２年）

南陽市赤湯地区にある十分一山周辺は、「南陽スカイパークエリア」として市民の憩いの場となっています。当時アカマツの森林が松くい虫被害などにより荒廃が進んでいました。市民の憩いの森林を再生すべく、３ヵ年計画で植樹を実施しました。

	植樹日	植樹本数	参加人数
第１回	２０１０年１０月２日(土)	３００	２９４
第２回	２０１１年６月１１日(土)	２，４００	３０２
第３回	２０１２年６月３０日(土)	２，４００	３７０



2010年



2012年

■「第７３回全国植樹祭いわて２０２３」（２０２３年）

２０２３年に岩手県で開催された「第７３回全国植樹祭いわて２０２３」にて、苗木の提供やブース出展などの協力を行いました。

■「第４８回全国育樹祭 みやぎ２０２５」（２０２５年）

本年１０月に宮城県で開催された「第４８回全国育樹祭 みやぎ２０２５」にて、運営について協力し、ブース出展しました。

■宮城県石巻市上釜ふれあい広場（２０１２年）

東日本大震災で津波被害を受けた上釜ふれあい広場にて、１，６００名のボランティアの皆さまとともに、タブ、シラカシ、ツツジなど地域に自生する苗木１５，０００本を植えました。

■宮城県石巻市石巻南浜津波復興祈念公園（２０１９年～）

東日本大震災により甚大な被害を受けた石巻市南浜地区で、国、宮城県、石巻市が一体となって整備する公園にて、当財団は、２０１９年より「復興の森植樹祭」に参画し、２０２８年まで植樹・育樹・環境学習を継続します。これまでに約４５，０００本の植樹を行いました。

■宮城県亘理町（２０１６年～２０１８年）

東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指して宮城県が推進する「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」に賛同し、２０１６年から３年間でボランティアの皆さま３，１００名とともに、クロマツ、コナラ、ヤマザクラなど４４，５００本を植えました。
２０２３年より下草刈りなどの育樹活動も実施しており、本年１１月は育樹活動と観察会を実施予定です。